

Rewarding

やりがい

あなたに、
いてくれて
よかったです。

Career

キャリア

Growth

成長

— ナラティブを紡ぐ —



Trust

信頼



♥ 宮城県立精神医療センター

iii 宮城県立がんセンター

看護師採用案内

看護師採用
情報サイト



地方独立行政法人

宮城県立病院機構

私の看護を届けたい。

みえない声を聴き、

一人ひとりに寄り添う看護

共に創りあげるナラティブがある。

あなたが、いてくれてよかった。
—ナラティブを紡ぐ—

良質な
医療の提供

温かさを
感じる看護

看護師としての
豊かな成長



ともに支え合い、成長する看護師をめざして

地方独立行政法人宮城県立病院機構理事長 山田 秀和
宮城県立がんセンター総長

宮城県立病院機構は、宮城県立精神医療センターと宮城県立がんセンターの2つの病院を運営している地方独立行政法人です。

機構、すなわち両病院が果たすべきミッションは、民間の医療機関では対応が困難な、高度で専門的な医療を県民の皆様へ提供することにあります。

そのため、両病院の現場では職員一人ひとりが、医療や看護に対する高い倫理観や熱い志を持って日々の業務に励んでいます。そのようなスタッフを支え育成することこそが、両病院を統括する当機構が果たすべき役割であり、専門性の高い知識や技術の習得に向けた、きめの細かい教育プログラムや働き

方の改善に向けた各種制度の充実などの環境づくりを行っています。これにより看護師をはじめとする全てのスタッフが、「精神科医療」や「がん医療」のプロフェッショナルとして、ともに支えあい成長できる環境で、やりがいをもって全力で職務に取り組んでいます。

当機構へ入職をお考えの皆様、患者さん一人ひとりと真摯に向き合い、その人の想いにしっかりと寄り添うことを大切に、高度で専門的な医療や看護をとともに提供していきましょう。

皆様の御応募、心よりお待ちしております。

宮城県における
精神医療の基幹病院として、
利用者の生き方に寄り添う医療



宮城県立精神医療センター

ロゴマークは3つの行動規範「Smile Support Sprits」と患者さんを病院・家族・地域で包み込むというイメージを重ね合わせたものです。MPCはMiyagi Psychiatric Centerを表しています。



基本理念

心のかような良質な医療を提供し、
信頼される病院を目指します。

- 病院概要(令和8年3月現在)
病床数/精神病床148床、精神科救急病床110床
職員数/210名(看護師数 146名)
- 診療科/精神科、児童精神科
- 看護体制
【看護単位】精神科病棟2看護単位
精神科救急病棟2看護単位
児童思春期精神科病棟1看護単位
外来(児童思春期外来含む)1看護単位
【看護配置】精神科病棟 15:1
児童思春期精神科病棟 10:1
精神科救急病棟 10:1
看護補助加算
【看護提供方式】グループプライマリーナーシング
- 勤務体制 3交替(日勤/準夜勤/深夜勤)、早番・遅番

アクセス

宮城県立がんセンター

〒981-1293
宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
TEL.022-384-3151(代)

- 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
- 名取駅西口から「なとりん号」を使用(所要時間 約7分)
- 仙台南インターから県道仙台・岩沼線を利用(所要時間 約15分)

宮城県立精神医療センター

〒981-1231
宮城県名取市手倉田山無番地
TEL.022-834-2236(代)

- 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
- 名取駅西口から「なとりん号」を使用(所要時間 約7分)
- 仙台南インターから県道仙台・岩沼線を利用(所要時間 約20分)

東北唯一の
がん専門病院として、
高度かつ先進的ながん医療の実践



宮城県立がんセンター

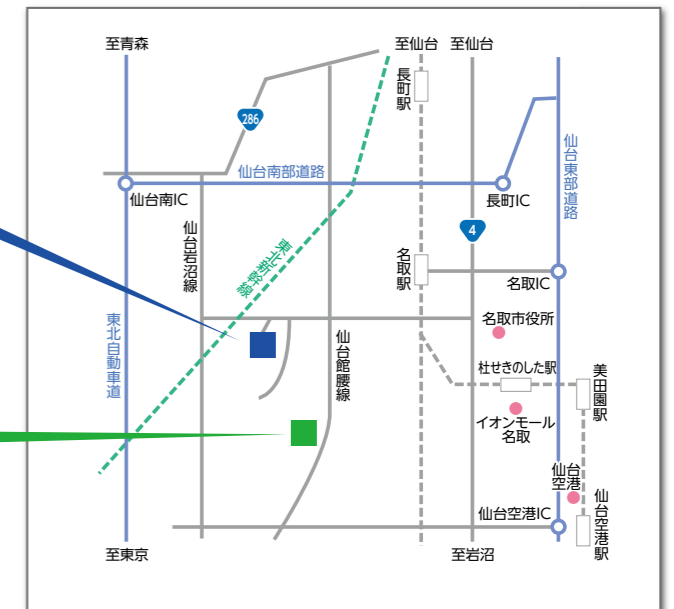
ロゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表しています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。



基本理念

患者さんの視点に立ち、
良質かつ先進的医療を提供し、
がん専門病院としての使命を果たします。

- 病院概要(令和8年3月現在)
病床数/一般病床348床、緩和ケア病棟25床
職員数/518名(看護師数 310名)
- 診療科/血液内科、腫瘍内科、呼吸器内科・外科、頭頸部内科・外科、消化器内科・外科、緩和ケア内科、婦人科、泌尿器科など全26診療科
- 看護体制
【看護単位】一般病棟・HCU7看護単位
緩和ケア病棟1看護単位
外来2看護単位
手術室1看護単位
【看護配置】一般病棟 7:1
緩和ケア病棟 7:1
急性期看護補助加算
急性期看護補助加算夜間
【看護提供方式】グループプライマリーナーシング
- 勤務体制 3交替(日勤/準夜勤/深夜勤)、早番・遅番



宮城県立精神医療センター

Miyagi Psychiatric Center

可能性を信じてともに歩み続ける看護

当院は、宮城県の精神科の基幹病院として、県の精神医療の中心的な役割を担っています。精神科救急 24 時間の受け入れ体制、児童精神科、訪問看護ステーションの運営等、社会のニーズに応じた医療を提供しています。

当院では、「Smile(笑顔で)、Support(支援)、Spirits(心を込めて)」をモットーに、心の通う精神医療の実現を目指しています。私達看護師は、病状で隠れている患者さんの本来の姿「性格や強み」、「大切にしていること」などに目を向け、「こうありがたい！」と思う姿を目指して、心を込めて支援しています。そのために、通院や入院時だけでなく、地域における日常生活のあらゆる困り事や苦しさに対し、その方の可能性を信じともに歩みを進めることを大切にしています。



看護部理念

看護倫理を基盤に、精神科看護の質の向上を図るように努める。また、看護のさまざまな「おこない」とおし、患者さんおよびそのご家族のよりよい環境作りに努めるとともに、社会の動向に沿った継続性のある良質な看護活動を展開する。

看護部方針

1. 患者さん・ご家族一人ひとりの「そのひとらしさ」を大切に、看護を提供する
2. 患者さん・ご家族の個々の生活能力を高め、早期退院に向けた積極的な支援に努める
3. 専門的知識に基づき安全・安楽を考慮し医療事故防止に努める
4. 医療チームの一員として看護の専門性を発揮し、効率的な看護を提供する
5. 精神科看護としての専門性を高める
6. 健全な病院経営に参画する

精神科看護は心で感じることから始まる



看護部長 大場 美沙

「精神疾患を持つ人に関わりたい！」そう思ったのは、看護学生3年次の実習で出会った患者さんが発した言葉を聴いた時でした。病棟のデイルームで将棋をさしながら「退院先が決まらない」と悲し気に話す様子が強く心に響きました。病気が落ち着き、このように穏やかに日常を送れる状態にあっても精神疾患を持つことで、退院できないこともあるという事実を知ったのです。私の中で、患者さんの描く生活を営むことができるようにサポートしたいという気持ちが、湧きあがった瞬間でした。

現在、当院の看護師は、患者さんと真摯に向き合い、思いに寄り添い、対話を続けるという精神科看護の基本を大事にしながら、退院支援、地域定着推進に力を注いでいます。さらに、患者さんやご家族、看護スタッフ、多職種チームと語り合い、力を合わせて、患者さんの希望や可能性を探り、患者さんが求める生活や生き方に近づくようにサポートしています。まさにチーム医療の醍醐味を味わえる実践が展開されています。

当院は、職員がチームの一人であることに誇りとやりがいを感じながら活動できる場所です。私達と一緒に、患者さんやご家族、地域の支援者と、ともに歩み続ける看護を目指しませんか。皆さまと一緒に看護ができる日を心からお待ちしております。

Philosophy

Policy

Message

看護のしごと

Works

県立精神医療センターに勤務する看護師へ「看護のしごと」についてインタビュー。「志望動機」や実際に働いてみての「やりがい」など、生の声をQ&A形式でお聞きしました。

Q1 精神医療センターを選んだ理由は？

(2年目看護師) 大学3年生の時、当院で精神科領域の実習を行いました。病棟カンファレンスが活発に行われており、一人の患者さんについて看護スタッフ全員で相談していることがとても印象的で、患者一人ひとりに真摯に向き合う看護に憧れ、当院を選びました。

(4年目看護師) 宮城県の精神医療の基幹病院として、急性期治療から社会復帰支援まで一貫して関われる点に魅力を感じました。多職種と連携しながら、患者さん一人ひとりの生活を見据えた看護を実践できる環境だと考え、当院を選びました。

Q2 実際に働いてみてどうですか？

(2年目看護師) 急性期病棟を志望し、働き始めて2年が経ちました。急性期の特徴とも言えますが、内服治療により、入院当初からの精神症状が劇的に改善し、変化する患者さんの姿にやりがいを感じながら働くことができています。

(4年目看護師) 急性期の忙しい環境の中でもスタッフ同士のコミュニケーションが活発で、常にチームで患者さんを支えています。悩みや不安を相談しやすく、互いにフォローし合える雰囲気があり、安心して前向きに看護に取り組んでいます。

Q3 働いていてうれしかったこと、やりがいを感じたことはありますか？

(2年目看護師) 受け持ち患者さんから退院日に「あなたが担当でよかった」と言ってもらえたことです。入院当初は精神症状が強



入職2年目看護師



入職4年目看護師

く、攻撃的な性格の患者さんの対応に困難を感じていましたが、私なりに関わっていたことは間違いではなかったと思えました。

(4年目看護師) 症状が不安定で関わりが難しかった患者さんと、日々の関わりを通して信頼関係が築けたことです。安心した表情で声を掛けていただいた時、自分の看護が回復の支えになっていると感じ、やりがいを実感しました。

Q4 働いてみたいという方へ一言

(2年目看護師) 新卒で精神科単科に入職することに悩んでいる方も多いと思います。私自身もその悩みを経て入職しました。しかし、精神科看護を学ぶためには当院以上の環境はないと感じています。患者さんの様々な病状や現在に至るまでの背景を知り学ぶことができます。

(4年目看護師) 精神科看護に不安がある方も、教育体制が整っており、先輩や多職種がしっかり支えてくれる職場です。日々の関わりを通して精神科看護の奥深さを実感でき、自身の成長を感じられます。精神科看護に興味がある方は、ぜひ一緒に働いてみませんか。



新人看護師のある日の一日

1年目看護師のある日の日勤業務を紹介します！

☀ 日勤 8:30~17:15	
8:30	出勤 勤務開始
午前	情報収集、申し送り、与薬ラウンド、観察(検温、容態聴取)、買い物支援、入浴介助、作業療法参加支援、安全確認(施錠・危険物・人員)
12:00	配膳・食事介助・与薬、交代で休憩
午後	カンファレンス、検温、院内散歩の付き添い、心理教育運営、与薬ラウンド、記録確認、申し送り等
17:15	勤務終了 退勤

県立精神医療センター勤務の場合



検温・血圧測定・採血等



社会復帰のための支援(買い物支援)



申し送り中

宮城県立精神医療センターの教育体制

看護部の教育目標

Educational Goals

教育目標

1. 看護師として必要な基礎的な知識・技術を習得し、看護実践能力を高める
2. 精神科看護の専門性を高める



教育プログラム 4つの柱

- ニーズをとらえる力
- 協働する力
- ケアする力
- 意思決定を支える力

クリニカルラダー

Clinical Ladder

専門看護だけではなく、基礎看護も一緒に学べる環境です!!

10年目~

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護研究、多職種協働による地域移行支援の実践 など

5~9年目

幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する
リカバリー・ストレングスマodel、認知行動療法、ファシリテート など

3~4年目

ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
リーダーシップ、多職種連携、訪問看護、看護研究、精神科看護 など

2年目

標準的な看護計画に基づき、必要に応じ指導・助言を受け看護を実践する
看護倫理、精神疾患の治療と看護、緊急時の看護、フィジカルアセスメント など

1年目

基本的な看護手順に従い指導・助言を受けて看護実践できる
基礎看護技術（※新人看護師の年間スケジュール参照）

プリセプター制度

Preceptor System

プリセプター制度とは

新人看護師（プリセプティ）には、心理的サポートや技術指導を行う先輩看護師（プリセプター）が付き、1年を通してマンツーマンでフォローします。

先輩看護師 〈プリセプター〉



入職当初、緊張した様子のプリセプティも、病棟スタッフの温かい指導と和やかな雰囲気の中で徐々に環境に慣れていきました。業務と並行しての指導には不安もありましたが、先輩方的確なフォローに支えられ、病棟全体で協力し合う体制を実感できました。また、プリセプティが一生懸命努力する姿に触れ、私自身も励まされる場面が多くありました。精神科では患者さんとの関わりに難しさもありますが、丁寧に関係性を築こうとする姿勢に成長を感じ、指導のやりがいを強く感じています。今後も安心して力を発揮できる環境を整えつつ、互いに成長を重ねていきたいと考えています。

新人看護師 〈プリセプティ〉



入職当初、不安だった私にプリセプターはいつも優しく声を掛けてくれたり、私が悩んだ時には親身になって相談に乗ってくれました。技術面でも沢山時間を作り教えてもらいました。プリセプターに限らず病棟の先輩方も優しく丁寧に助言してくれるので、日々安心して看護業務に取り組むことができている。心強い先輩方のサポートをもらいながら、この1年を通してできるようになったことが着実に増えました。今後も周りの環境に感謝しながら、先輩方から沢山吸収して日々看護師として成長し続けていきたいです。

宮城県立精神医療センター

新人看護師 年間スケジュール

研 修		病棟業務	
基礎看護	精神看護	日 勤	夜 勤
●オリエンテーション		4月 ●シャドーイング ●見守りの下、看護ケアの一部実施	なし
●基礎看護研修 (看護技術の基本) ・注射、採血、吸引、導尿、洗腸等の講義と演習	●精神看護研修 ・精神科疾患の特徴と基本的な精神科看護を学ぶ	5月 平日 ●先輩の受け持ち患者をサポートを受け担当 休日 ●日勤者+1名として勤務	●深準1クール ※夜勤者+1名として勤務(シャドーイング)
●シミュレーション研修 ・急変時の対応(BLS)	●シミュレーション研修 ・行動制限最小化 ・包括的暴力防止プログラム	6月 平日 ●1名~数名をメインで受け持つ(比較的病状が安定している患者) 休日 ●日勤者+1名として勤務	●深準2クール ※患者数名をサポートを受け担当 ※夜勤者+1名として勤務 ※夜勤者のメンバーの1名としてサポートを受け勤務
●医療安全管理研修 ●感染管理研修	●シミュレーション研修 ・対人関係能力を養う	7月 平日 ●複数名の患者を受け持つ 休日 ●日勤メンバーの1名になる	●夜勤6回程度 ※サポートを受け勤務
●看護過程を学ぶ ・精神科における看護過程の展開を学び、実際に展開する		8月 ●プライマリーナースとして患者1名を受け持つ	●夜勤7回程度 ※サポートを受け勤務
●看護倫理研修		9月 ●プライマリーナースとして患者2名を受け持つ	●夜勤8回程度
●リフレクション研修 ・自分の看護体験を振り返り、「私の看護観」について考える	●精神科3大療法と看護 ・精神(心理)療法、薬物療法、リハビリテーションについて学ぶ	10月	
●シミュレーション研修 ・急変時の対応(BLS)		11月	
●私の看護観発表会 ・ナラティブストーリー		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

1年間の目標の評価・レベルI申請準備

レベルI認定証書授与



宮城県立がんセンター

Miyagi Psychiatric Center

ここだからできる“がん看護”がある

当院は、東北唯一のがん専門病院であり、都道府県がん診療連携拠点病院としてがんの高度先進医療の提供を行うと同時に、緩和ケアや研究を含めた「がん征圧の拠点」としての役割を担っています。2人に1人ががんになる時代、私達看護部は、患者さんにとって最善となるがん医療を提供し、患者さんががんとよりよく共生できるように、がん看護に携わるプロフェッショナルとして自覚と責任を持ち看護に取り組んでいます。

今、社会の変化や個人の価値観の多様化などを背景に、看護師が果たす役割は拡大しています。その中において、私達看護部は、エビデンスに基づく質の高い看護ケアを提供し、患者さんやご家族に対し「温かい」看護を実践することを大切にしています。

患者さん一人ひとりに寄り添い看護を提供する、「ここだからこそできるがん看護」を行い、「この病院に来てよかった」と感じていただける看護部でありたいと思っています。



看護部理念

人々の生命及び人権を尊重し、温かく信頼感に基づいた質の高いがん看護を提供します。

看護部方針

1. 患者さんのニーズを的確に捉え、安心感、満足感とともに信頼される看護に努めます
2. 専門職業人として主体的に学び、人間の成長とがん看護の実践能力の向上を目指します
3. 医療チームの一員としての役割と責任を果たし、地域及び多職種との連携を深めます
4. 業務改善を推進するとともに経済効率の向上を目指します

がん患者さん、ご家族の思いに寄り添う看護をめざして Message



看護部長 小野 由美子

国民の2人に1人ががんに罹患する現在、治療成果の向上や、治療方法の多様化に伴い、がん患者さんの生存期間の長期化、社会復帰が容易となりました。しかし、がんという疾患は治療経過が長く、それぞれの段階で必要とされる治療や看護ケアが異なります。がんと共存する中で、長い治療経過を見据えて、常に患者さんにとって何がベストなのか、ご家族の思いは何か、患者さんの可能性を引き出すのが看護師の役割です。

患者さんの最も近い存在である看護師は、患者さんやご家族の言葉にできない「今」の思いに寄り添いながら、自らのご意思で治療や療養を選択できるよう支援することが求められます。

看護部の教育は、看護実践の基礎的能力から「がん看護実践能力」まで、段階的に学びを深める研修体制になっています。現場にいる専門・認定看護師や医師等が講師になり、患者さんやご家族の状況から看護を探求できる充実した研修となっており、これらの教育と臨床の学びを統合しながら「がん看護」の実践へとつなげていきます。

「がんセンターだからこそできる看護がある！」がん看護に興味のある皆さん、是非、私達と一緒に患者さんに寄り添いながら「がん看護」を実践してみませんか。

看護のしごと

Works

県立がんセンターに勤務する看護師へ「看護のしごと」についてインタビュー。「志望動機」や実際に働いてみての「やりがい」など、生の声をQ&A形式でお聞きしました。

Q1 がんセンターを選んだ理由は？

（4年目看護師①）祖父ががんを患ったことをきっかけに、がん医療に関心を持ちました。がんの治療だけではなく、治療を支える看護の役割に魅力を感じ、がん専門病院で知識と技術を学び、確かな看護を身に付けたいと思い志望しました。

（4年目看護師②）家族ががんを患ったことをきっかけに、がん看護への関心が高まりました。患者さんやご家族の不安に寄り添える看護を身に付けたいと考え、専門的ながん看護を学べる環境だと感じて選びました。

Q2 実際に働いてみてどうですか？



入職4年目看護師①

（4年目看護師①）がんとともに生きる患者さんを支える中で、身体面だけでなく精神面や生活背景も含めて関わる難しさを感じることがあります。一方で、多角的に患者さんを捉え、チームで支える看護の大切さを日々実感しています。

（4年目看護師②）患者さんやご家族の思いに丁寧に寄り添うことを大切にしながら、日々経験を積み重ねています。学んだことを確実に実践に活かすことで自分ができることが少しずつ広がっていると感じています。

Q3 働いていてうれしかったこと、やりがいを感じたことはありますか？

（4年目看護師①）患者さんやご家族から感謝の言葉をいただいた



ときや、患者さんが笑顔で退院される様子を見ると大きなやりがいを感じます。また、これまで学んだ知識を実践に活かし、看護師として患者さんの力になれたと感じた瞬間に嬉しさを感じます。

（4年目看護師②）患者さんから「ありがとう」と言ってくれたとき、自分の関りが少しでも患者さんの力になれたのだと実感しています。こうした経験が、看護を続ける大きなやりがいになっています。



入職4年目看護師②

Q4 働いてみたいという方へ一言

（4年目看護師①）がん看護は決して簡単ではありませんが、その分やりがいの大きい分野です。患者さん一人ひとりに向き合い、専門性を高めながら成長したい方には、学びの多い職場だと思えます。

（4年目看護師②）がん看護には深い学びとやりがいがあります。患者さんに寄り添う気持ちを大切にしながら、安心して成長できる環境で一緒に歩んでいきましょう。



新人看護師のある日の一日

1年目看護師のある日の日勤業務を紹介します！

☀ 日勤 8:30～17:15	
8:30	出勤 勤務開始
午前	情報収集、申し送り、チームカンファレンス、点滴準備・投与、処置介助、検査介助、手術準備、日常生活援助等
12:00	配膳・食事介助・与薬、交代で休憩
午後	チームカンファレンス、検温、処置介助、検査介助、日常生活援助、記録確認、申し送り等
17:15	勤務終了 退勤

県立がんセンター勤務の場合



申し送りで中



検温・血圧測定・採血等



清拭準備

宮城県立がんセンターの教育体制

看護部の教育目標

Educational Goals

教育目的

看護部理念に基づいた、がん看護を誇れる看護師像を目指して、職業人として資質の向上と主体的・意欲的に行動できる能力を養う

求める看護師像

- 相手の立場に立って、物事を捉え、考え行動することができる
- 患者さん・ご家族のアドボケーターになることができる
- 柔軟な思考で豊かに学び成長できる


教育目標

1. 看護者一人ひとりの能力を引き出し、主体的に看護を実践し責任が取れる看護者を育てる
2. 現代の医療や看護の進歩、医療の高度化、社会の変化に応じた看護ができるよう支援する
3. 看護専門職として資質の向上を図るために自己研鑽して人間的成長ができることを支援する
4. 実践した看護を倫理的に思考し、看護の科学性を追求する態度を養う


クリニカルラダー

Clinical Ladder

同期と一緒に、分からないことは確認しながら研修を行います!



10年目~	複雑な問題を総合的に判断し、多職種と協働し患者のQOLを高める看護が実践できる 看護管理の基礎、がん患者の症状マネジメントと看護 など
5~9年目	看護の専門性を高め、予測的判断をもち多職種と協働し看護実践できる(看護モデル) 医療チームとの協働、がん治療と看護(代替・補完療法) など
3~4年目	チームと連携し、個別的な看護が実践できる リーダーシップ・コーチング、看護倫理、緩和ケア、チーム医療 など
2年目	チームメンバーの一員として自立した看護が実践できる 看護技術(専門的処置)、救急時の看護、がん治療と看護(応用) など
1年目	助言を受けながら、基本的な看護手順に従い、安心・安楽な看護が実践できる 基礎看護技術(※新人看護師の年間スケジュール参照)



プリセプター制度

Preceptor System

プリセプター制度とは

新人看護師(プリセプティ)には、心理的サポートや技術指導を行う先輩看護師(プリセプター)が付き、1年を通してマンツーマンでフォローします。

先輩看護師 (プリセプター)



プリセプターとして「教える」ことよりも「そばにいる」ことを大切に、困った時に最初に思い浮かべてもらえる存在を目指して日々関わってきました。言葉にできない不安や迷いにも気付けるよう表情の変化に注意し、些細なことでも相談しやすい関係づくりが心がけました。プリセプティが少しずつ自信をつけ成長していく姿を近くで感じられたことは大きな喜びでした。また、支援を通して自分自身の看護観や患者との向き合い方を見直す機会にもなり、ともに成長できた1年でした。

新人看護師 (プリセプティ)



入職した当初は、緊張と不安の毎日でした。初めてプリセプターと挨拶をした際に「緊張しているよね。大丈夫だよ」と笑顔で優しく伝えてくれ、安心して嬉しかったことを覚えています。知識・技術が未熟な私のペースに合わせて時間をかけて分かりやすく教えてくれました。そのため楽しく学び続けることができている。病棟の先輩方も進捗状況を気にかけて、サポートしてくれました。今後も優しい先輩方の助言やサポートを受けながら看護師として患者さんの思いに寄り添えるように日々努力していきたいです。

宮城県立がんセンター

新人看護師 年間スケジュール

研 修		病棟業務	
基礎看護	がん看護	日 勤	夜 勤
●オリエンテーション		4月 ●シャドーイング	なし
●基礎看護研修 (看護技術の基本) ・医療機器の取り扱い ・褥瘡予防対策研修 ・麻薬の取り扱い ・医療安全研修	●がん看護研修 ・がん患者の特徴と家族看護の基礎を学ぶ	5月 ●先輩の受け持ち患者をサポートを受け担当	●深準1クール ※夜勤者+1名として勤務(シャドーイング)
		6月 ●2名程度の患者を受け持つ	●深準2クール ●先輩の受け持ち患者をサポートを受け担当 ※夜勤者+1名として勤務
●看護理論研修	●がんの3大治療と看護 ・「手術療法」「化学療法」「放射線療法」における看護の基礎を学ぶ	7月 ●複数名の患者を受け持つ ●休日勤務1回 ※日勤者+1名として勤務	●深準3クール ※夜勤者+1名として勤務
		8月 ●複数名の患者を受け持つ ●休日勤務2回 ※日勤者+1名として勤務	●夜勤6回程度 ※サポートを受け勤務
●看護過程を学ぶ ・「NANDA看護診断」事例展開	●がん性疼痛マネジメント ・緩和ケア	9月 ●複数名の患者を受け持つ ●休日勤務2回	●夜勤7回程度
●シミュレーション研修 ・急変時の対応		10月	
●リフレクション研修 ・自分の看護体験を振り返り、「私の看護観」について考える		11月	
		12月	
●私の看護観発表会		1月	
		2月	1年間の目標の評価・レベルI申請準備
		3月	レベルI認定証書授与

看護師としてのキャリアを支える継続教育

プロフェッショナルとして信頼される看護師の育成を目指します

当機構では、“質の高い看護を提供し、プロフェッショナルとして信頼される看護師”の育成を目指し、各病院の専門性を重視した教育体制があります。また、2病院看護師が交流する「2病院合同研修」を開催しております。さらに職員のキャリア開発を支援する充実したサポート体制を整えております。

2病院合同研修



資格取得をサポート

◆ 専門・認定看護師

2病院で専門性を発揮して活躍できる専門・認定看護師の育成にも力を入れており、資格取得に意欲のある看護師を全面的に支援しています。病院推薦により受講料、滞在費、交通費等を当機構で負担し、出張扱いで参加できます。

看護の質向上をサポート

◆ 外部研修等へ参加

・役割研修
 ・専門領域による院内外研修
 ・看護研究・発表
 ・院外への研修会、講演会、学会への参加・発表

自己啓発をサポート

◆ 自己啓発休業

長期間大学等への通学や国際貢献活動をしたい場合に、その期間を「進学」は2年まで、「国際貢献活動」は3年まで休業することができます。

◆ 修学部分休業

働きながら大学等に通学したい場合に、勤務時間の一部を2年まで休業することができます。

Voices of senior nurses

先輩看護師の声



精神医療センター

宮城県は地震も多く、様々な震災を経て、より専門的な知識を得たいと思い、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の研修に参加させて頂きました。日本DPAT隊員となり、平時は訓練等に参加し、災害発生時には1週間にわたって現地の被災者や支援者の精神科医療ニーズに対応しています。最近は女性隊員も増えて嬉しく思っています。現在は非常勤講師として今までの活動や経験を伝える業務にも携わっています。活動時には病棟業務から離れることとなりますが、勤務調整を含め職場の協力を得て実践できており、ありがたく思っています。

キャリアビジョンへの支援



がんセンター

私は、患者さんが自分らしく治療を受けながら安心して生活できる看護を目指し、がんセンターに入職しました。研修や委員会活動を通じて新しい学びに挑戦し、病棟業務に加えアピアランスケア外来やラダー研修にも取り組んでいます。悩んだ際には多職種と協働し、チーム医療を通じて助言を受けながら問題解決に努めてきました。これまで培った知識を基盤に、職場が変わっても目標に沿った学びを継続できる環境に感謝しています。今後も学びを実践に結びつけ、患者さんにより良いケアを提供できるよう努力していきたいです。

専門・認定看護師

資格取得に意欲がある看護師を支援します！

精神医療センター

専門 精神看護専門看護師



精神看護専門看護師は、修士課程を経て日本看護協会の認定試験に合格し認定される資格です。専門看護師は、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の6つの役割を担う事を期待されています。精神看護のスペシャリストとして、院内の資源となるよう日々精神看護を実践しています。専門看護師になって2年目のため、病院を横断しての役割遂行は出来ていませんが、県内の精神科医療の皆である当院が実践する精神看護のさらなるレベルアップの為、日々頑張っています。当機構のサポートで、働きながらずっとなりたかった精神看護専門看護師になることができました。ぜひ当機構で看護のスペシャリストと一緒に目指しましょう！

がんセンター

専門 がん看護専門看護師



がんは早期発見・早期治療により根治を目指すことができ、またがん薬物療法の躍進的な開発により生存期間も延長しています。一方でがん治療は侵襲的で、合併症や有害事象により日常生活に影響を及ぼします。特に高齢のがん患者さんは、老化による脆弱性から治療を行うことで生活の質が著しく低下する場合があります。そのため、ご家族とともにご本人にとっての最善をチームで検討を重ねていくことが必要になります。私はがん看護専門看護師として、患者さん及びご家族の意向や価値観を大切に伴走者として在ることを大切にしています。

精神医療センター

認定 精神科認定看護師



精神科認定看護師として、子どもたち一人ひとりの個性を大切に、その子らしい成長を後押しする関わりを心がけてきました。子どもたちが安心して自分の気持ちを表現でき、生きづらさが解消される糸口を探り、共有し、ご家族と一緒に変化を歩んでいけるような関わりを意識しています。精神科看護は奥が深く、多職種で協働しながら専門性を高められる分野です。当院では学びのチャレンジを後押しする環境が整っています。ぜひ仲間として一緒に学び、成長し、より良い看護を届けていきましょう。

がんセンター

認定 乳がん看護認定看護師



看護師として初めて所属した部署は、乳がん患者が多く入院する病棟でした。患者さんからの温かい声や厳しいご意見を受けながら、看護師としても人としても成長してきました。乳がん患者に少しでも役立ちたいとの思いから、2011年に乳がん看護認定看護師の資格を取得しました。患者一人ひとりの個性に応じた看護は難しく、支援方法に悩むこともありますが、患者さんが納得して治療を選択し、治療と生活を両立できるよう支える存在を目指し、これからも日々努力していきたいと思っております。

専門看護師 (Certified Nurse Specialist)

- がん看護専門看護師 2名
- 感染症看護専門看護師 1名
- 精神看護専門看護師 1名

認定看護師 (Certified Nurse)

- 皮膚・排泄ケア認定看護師 2名
- 緩和ケア認定看護師 3名
- がん化学療法看護認定看護師 2名
- がん性疼痛看護認定看護師 1名

- 乳がん看護認定看護師 2名
- 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名
- がん放射線療法看護認定看護師 1名
- 感染管理認定看護師 3名
- 精神科看護認定看護師 (精神科看護協会認定) 4名



患者さんを支える様々な活動

患者さん一人ひとりの生活をより豊かにするために

患者さんが抱える希望や苦痛は、一人ひとり異なります。必要とされる医療や看護も多様です。2つの病院では、多職種が連携し、病棟・外来スタッフと協働しながら、切れ目のない支援、安全で質の高い医療、そして患者さんの価値観に寄り添ったケアを実現するために、日々取り組んでいます。ここでは、その中でも患者さんの生活の質向上に向けて活動している部門・チームの一部をご紹介します。

宮城県立精神医療センター

訪問看護ステーション

地域で生活する精神疾患のある方を支えられるよう、訪問看護ステーションゆとりで活動しています。訪問看護では利用者の希望とする生活、目標としている事等の話を伺い、想いを大切に地域で安心して生活を送れるよう支援しています。対象は利用者が主となりますが、利用者を支えるご家族への支援も重要であり大切にしたいと心掛けております。



点ではなく、線で利用者・ご家族を支えることが大切であり、必要に応じて院内や地域支援者を含めた多職種で連携を取りながら支援しています。支援者との繋がりもでき、自分の視野も広がったことで、より良い支援ができていることに、やりがいを感じています。

宮城県立がんセンター

地域医療連携室

患者さんやご家族が安心して地域に帰れるよう、その人らしい生活を地域全体で支えられるよう、退院調整看護師として活動しています。医師や看護師、地域の医療・介護職など多くの専門職と協働し退院支援をしていく中で、多職種での協働に難しさを感じることもありますが、患者さんが望む暮らしをともに考え支えるこの仕事に、看護の大きな魅力を感じています。



緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院を中心に設置されています。患者さんにご家族に、緩和ケア内科外来や緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、がん看護外来などを通して、専門的緩和ケアを提供しています。緩和ケアを専門とする医師や看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、公認心理師、理学療法士、管理栄養士のメンバーが連携して患者さんやご家族を支える活動をしています。

福利厚生

充実した福利厚生や働きやすい勤務環境で看護師生活を全力でサポートします

勤務体制

- 勤務時間
1日7時間45分（週38時間45分）
- ※三交替制勤務
日勤 8:30～17:15 / 準夜勤 16:30～翌1:15 / 深夜勤 0:30～9:15
（部署によって早番、遅番勤務があります）

給与・待遇

- 初任給
大学卒 289,909円 / 短大3卒 286,356円 / 短大2卒 277,424円
※令和8年3月時点。上記金額には給料の調整額・地域手当を含みます。
- 諸手当
扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間約4.55月分）、夜間勤務手当（準夜1回3,100円、深夜1回3,550円）、夜間看護手当、時間外勤務手当、休日勤務手当 等

休暇・休業制度

- 年次有給休暇
年間20日（初年度は採用日によって異なります。4月採用の場合は15日）
- 特別休暇
夏季休暇（5日以内）、結婚休暇（7日以内）、産前産後休暇（産前8週+産後8週）、子の看護休暇、忌引休暇、ボランティア休暇 等
- 育児休業制度
産後休暇後、子どもが3歳になるまで取得できる育児休業があります。また、復帰後、子どもが小学校就学開始まで、取得できる育児部分休業もあります。
- 休業
自己啓発休業、就学部分休業 等
このほかにも、病気休暇やリフレッシュ休暇など、さまざまな場面で活用できる休暇・休業制度を設けています。

福利厚生

- 共済制度
地方職員共済組合に加入し、医療や年金については、地方公務員と同様の制度で保障や給付を受けることができます。
- 定期健康診断など
必要な定期健康診断やがん検診を受診でき、必要な予防接種等も無料で受診することができます。

院内保育について

- 院内保育所
がんセンターの敷地内に院内保育所（つくし保育園）を設置し、仕事と子育ての両立を支援しています。（精神医療センターの職員も利用できます。）

Voices of senior nurses

先輩看護師の声

看護に専念できる環境



精神医療センター

育児部分休業の制度を使用し、先輩方のサポートを受けて日々の外来業務に取り組むことができています。子どもの急な体調不良などで休むことになった時には、子の看護休暇があるためとても助かっています。常に温かく励まし、気遣ってくださる看護師長やスタッフ、支えてくれる家族に感謝しながら仕事・育児に楽しく取り組むことができています。



がんセンター

私は育児休業取得後に病棟へ復帰し、平日8:30～16:15の時短勤務をしています。限られた勤務時間の中で業務を行う必要はありますが、業務内容や優先順位を調整しながら、効率的に取り組むことができていると思います。時短勤務により家庭と仕事の両立が可能となり、精神的にも安定して勤務することができています。子どもの体調不良等で急な対応が必要になることもありますが、周囲の理解と協力があるため安心して働ける環境です。また、仕事のことは勿論、業務以外のことも相談しやすい環境が整っていると感じています。

あなたが、
いてくれて
よかったです。



看護師採用に関するお問い合わせ先

地方独立行政法人

宮城県立病院機構本部事務局

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1

TEL.022-796-1042



PR動画
配信中